



学校だより

あふれるいずみ

令和5年3月16日
練馬区立大泉西中学校
特別号

令和4年度 学校評価アンケートのまとめ

ご協力いただいた学校評価アンケートの集計結果です。網かけ部分は、回答割合の最も多い値と次に多い値です。アンケート結果を参考にして、次年度の教育課程の編成や教育活動の改善につなげていきます。ご協力ありがとうございました。

1			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	1. 私は大泉西中学校の生徒であることに、肯定的に感じている	1年	47.62%	39.68%	9.52%	3.17%
		2年	18.86%	52.00%	24.00%	5.14%
		3年	26.25%	60.00%	10.63%	3.13%
保護者	1. 子どもは、大泉西中学校の生徒であることに肯定的である。	30.95%	58.33%	9.52%	1.19%	
教員	1. 生徒が大泉西中学校の生徒として自信を持てるように指導している	25.00%	75.00%	0.00%	0.00%	

2			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	2. 私には、学校生活は明るく活気があり楽しい	1年	46.03%	35.71%	14.29%	3.97%
		2年	26.86%	58.29%	10.29%	4.57%
		3年	39.38%	52.50%	6.25%	1.88%
保護者	2. 子どものようすから、学校生活は明るく活気があり、楽しいと感じる。	17.86%	67.86%	14.29%	0.00%	
教員	2. 生徒の学校生活が明るく活気があり楽しくなるように指導している	40.00%	55.00%	5.00%	0.00%	

3			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	3. 私は、家庭学習や課題、提出物をきちんと出している	1年	26.19%	50.79%	15.08%	7.94%
		2年	25.71%	54.86%	14.86%	4.57%
		3年	35.63%	51.88%	11.25%	1.25%
保護者	3. 子どもは、家庭学習や課題、提出物をきちんと出している。	29.76%	50.00%	17.86%	2.38%	
教員	3. 生徒が家庭学習や課題、提出物をきちんと出せるよう指導している	25.00%	70.00%	5.00%	0.00%	

4			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	4. 私は、朝読書の時間に自分で本を用意するなど、しっかり取り組んでいる	1年	53.17%	28.57%	11.90%	6.35%
		2年	46.29%	38.86%	11.43%	3.43%
		3年	44.38%	40.00%	13.13%	2.50%
保護者	4. 子どもは、朝読書の時間に自分で本を用意するなどしっかり取り組んでいる。		29.76%	51.19%	14.29%	4.76%
教員	4. 生徒が朝読書の時間に自ら本を用意するなど、しっかり取り組めるよう、学級・学年などで取り組めるよう指導している		10.00%	80.00%	10.00%	0.00%

5			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	5. 私は、睡眠時間をしっかり取って生活するように努力している	1年	25.40%	45.24%	23.81%	5.56%
		2年	27.43%	50.86%	15.43%	6.29%
		3年	37.50%	41.88%	17.50%	3.13%
保護者	5. 子どもは、睡眠時間をしっかり取って生活するように努力している。		23.81%	40.48%	28.57%	7.14%
教員	5. 生徒が睡眠時間をしっかり取って生活するように指導している		20.00%	70.00%	10.00%	0.00%

6			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	6. 学校生活は落ち着いて、安心して生活できている	1年	37.30%	39.68%	17.46%	5.56%
		2年	22.86%	59.43%	12.57%	5.14%
		3年	33.13%	57.50%	6.88%	2.50%
保護者	6. 子どものようすから、学校生活は落ち着いて、安心して生活できていると感じている。		14.29%	70.24%	13.10%	2.38%
教員	6. 学校生活が落ち着いて安心して生活できるよう、しどろしどろ施設や教材の安全を確認したりしている		30.00%	70.00%	0.00%	0.00%

7			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	7. 先生は、生徒の良い行いや努力しているところを見つけ、認めたりほめたりしている	1年	34.13%	55.56%	7.94%	2.38%
		2年	21.14%	49.71%	21.71%	7.43%
		3年	29.38%	62.50%	7.50%	0.63%
保護者	7. 学校は、生徒の良い行いや努力しているところを見つけ、認めたりほめたりしている。		16.67%	63.10%	19.05%	1.19%
教員	7. 生徒の良い行動や努力していることを見つけ、その言動をほめたりしている		60.00%	35.00%	5.00%	0.00%

8			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	8. 先生は、思いやり・命の大切さや社会のルールなどを、道徳の授業を中心に考えてさせている	1年	50.79%	41.27%	5.56%	2.38%
		2年	31.43%	58.29%	8.57%	1.71%
		3年	32.50%	62.50%	4.38%	0.63%
保護者	8. 学校は、思いやり・命の大切さや社会のルールなどを道徳の授業を中心に考えさせている。		11.90%	77.38%	8.33%	2.38%
教員	8. 生徒に、思いやり・命の大切さや社会のルールなどを、教え考えさせるために、道徳の授業は考えさせ意見交換ができる工夫をしている		25.00%	70.00%	5.00%	0.00%

9			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	9. 先生は、「いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度で、指導を行っている	1年	49.21%	45.24%	5.56%	0.00%
		2年	39.43%	51.43%	6.29%	2.86%
		3年	36.88%	53.13%	6.88%	3.13%
保護者	9. 学校は「いじめ・暴力は絶対に許さない」という毅然とした態度で指導を行っている。		13.10%	61.90%	23.81%	1.19%
教員	9. 私たちは「いじめ・暴力は絶対に許さない」という毅然とした態度で指導を行っている		60.00%	40.00%	0.00%	0.00%

10			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	10. 私には、先生やスクールカウンセラー、心のふれあい相談員など、相談できる大人が学校にいる	1年	38.89%	34.92%	12.70%	13.49%
		2年	29.71%	38.86%	20.00%	11.43%
		3年	28.75%	41.88%	18.13%	11.25%
保護者	10. 先生やスクールカウンセラー、心のふれあい相談員など、相談できる大人が学校にいる。		16.67%	60.71%	20.24%	2.38%
教員	10. 生徒の相談相手になれるよう学年や分掌で連絡を密にするとともに、生徒の相談にはカウンセリングマインドを心がけ、まずは受け止めることから始めている		35.00%	65.00%	0.00%	0.00%

11			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	11 私には自ら家族や友達、先生や職員、来校者などに挨拶をしている	1年	50.00%	42.06%	7.14%	0.79%
		2年	28.57%	52.57%	16.00%	2.86%
		3年	48.75%	45.63%	4.38%	1.25%
保護者	11. 子どもは、自ら学校や家族や友人、先生や地域の人などに挨拶をしている。		19.05%	66.67%	13.10%	1.19%
教員	11. 私は自ら生徒や来校者、職場の仲間に挨拶をしている		35.00%	60.00%	5.00%	0.00%

12			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	12. 私は、委員会や係活動・当番活動に進んで取り組んでいる	1年	60.32%	30.16%	6.35%	3.17%
		2年	38.29%	55.43%	5.71%	0.57%
		3年	50.63%	45.00%	3.13%	1.25%
保護者	12. 子どもは、委員会や係・当番活動に進んで取り組んでいる。		33.33%	54.76%	11.90%	0.00%
教員	12. 生徒が委員会や係活動・当番活動に進んで取り組むように、指導したり仕組みを整えたりしている		15.00%	80.00%	5.00%	0.00%

13			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	13. 先生は、将来の生き方や仕事、進学について学んだり考えたりする授業や行事を行っている	1年	32.54%	50.79%	11.11%	5.56%
		2年	23.43%	68.00%	7.43%	1.14%
		3年	36.25%	59.38%	3.75%	0.63%
保護者	13. 学校は、将来の生き方や仕事、進学について学んだり考えたりする授業や行事を行っている。		8.33%	70.24%	21.43%	0.00%
教員	13. 生徒が将来の生き方や仕事、進学について学び考えられるようにしている		15.00%	75.00%	10.00%	0.00%

14			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	14. 総合的な学習の時間では、自分が興味関心のあるテーマを見つけたり、それについて調べ・発表したりする授業を行っている	1年	30.95%	51.59%	14.29%	3.17%
		2年	33.71%	52.57%	13.14%	0.57%
		3年	31.88%	56.25%	10.00%	1.88%
保護者	14. 総合的な学習の授業では、自分の興味関心のあるテーマを見つけたり、それについて調べ・発表したりする学習が多くある。		10.71%	66.67%	22.62%	0.00%
教員	14. 総合的な学習の授業では、生徒が興味関心のあるテーマを見つけたり、それについて調べ・発表できたりする学習形態をとれるようすすめている		30.00%	55.00%	15.00%	0.00%

15			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	15. 私は、ボランティア活動に参加したり、学級・学年・学校に貢献しようとしている	1年	22.22%	43.65%	27.78%	6.35%
		2年	16.00%	42.86%	28.57%	12.57%
		3年	18.75%	50.63%	24.38%	6.25%
保護者	15. 子どもは、ボランティア活動に参加したり、学級・学年・学校に貢献しようとしている。		8.33%	11.90%	50.00%	30.95%
教員	15. 生徒がボランティア活動に参加したり、学級・学年・学校に貢献しようとする姿勢を認めたり応援したりするなどして、より多くの生徒が活動するよう指導している		15.00%	10.00%	80.00%	5.00%

16			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	16. 学校の給食は残さず食べている	1年	50.79%	27.78%	16.67%	4.76%
		2年	34.86%	34.29%	17.71%	13.14%
		3年	39.38%	37.50%	15.00%	8.13%
保護者	16. 子どもは、学校の給食は残さず食べている。		40.48%	35.71%	16.67%	7.14%
教員	16. 給食指導(アレルギー対応、準備・片付け、喫食中の指導など)を、給食担当や学年で確認した指導で進めている		45.00%	55.00%	0.00%	0.00%

17			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	17. おたよりやホームページは、学校の情報をつかむのに役立っている	1年	23.02%	50.79%	17.46%	8.73%
		2年	16.57%	46.29%	26.29%	10.86%
		3年	23.13%	51.25%	18.13%	7.50%
保護者	17. おたよりやホームページは、学校の情報をつかむのに役立っている。		16.67%	57.14%	20.24%	5.95%
教員	17. おたよりやホームページで、学校の情報を伝えるように努めている		15.00%	45.00%	30.00%	10.00%

18			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	18. 先生は、授業でねらいや目的などを示し、わかりやすい授業を行っている	1年	38.10%	51.59%	7.14%	3.17%
		2年	21.14%	62.29%	13.14%	3.43%
		3年	30.63%	61.25%	6.88%	1.25%
保護者						
教員	18. 授業では狙いや目的などを示し、生徒にわかりやすい授業を行っている		15.00%	85.00%	0.00%	0.00%

19			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	19. 先生は、電子黒板や実物投影機などを使用し、授業を進めている	1年	65.87%	30.95%	2.38%	0.79%
		2年	46.86%	50.86%	1.71%	0.57%
		3年	53.13%	45.00%	1.25%	0.63%
保護者						
教員	19. ICT 機器を使用し授業を進めている		25.00%	65.00%	10.00%	0.00%

20			とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
生徒	20. 先生は授業で説明するだけでなく考えたり調べたりする時間など色々な形で授業を進めている	1年	50.00%	45.24%	3.97%	0.79%
		2年	26.86%	65.14%	7.43%	0.57%
		3年	34.38%	62.50%	3.13%	0.00%
保護者						
教員	20. 授業では、説明するだけでなく、考えたり調べたり発表する時間を設けるなど、いろいろな形態の授業を取り入れて進めている		30.00%	55.00%	15.00%	3.97%

アンケートの自由記述

生徒や保護者からいただいた意見について、主なものを掲載します。

(1) 新型コロナウイルス感染症対応関連

- ・ コロナ禍の中学校内での消毒剤を各教室に置くなど換気も定期的にするなど予防してほしい。
- ・ 厚生労働省や東京都、練馬区の方針を踏まえ、手洗いによる予防を中心に指導しています。給食当番には各教室で消毒液を使用しています。個人的に持参して使用することもできます。また、本校はロスナイ換気システムにより 24 時間の換気が行われており、薬剤師の環境検査で Co2 濃度が基準値以下に保たれています。

(2) 学校からの情報発信関連

- ・ ホームページが稼働していないので情報があまり入ってこない。
- ・ ホームページをもっと活用してほしい。学校行事の様子、行事などの連絡、学年だより、学校だよりの掲載更新。現時点では、ホームページを見ても何も分からない、ホームページは意味がないと感じている。
- ・ 許可なく写真を取るということをしないでほしいです。醜形恐怖症の人や自分に自身がない人にとってかなりのストレスです。コロナになって変わったことは生活だけではなく、人の心も含まれることを理解してほしいです。
- ・ ホームページの充実は、昨年度に続き改善が進んでいない本校の課題です。次年度は、職員の役割分担を明確にして改善を図ります。
- ・ 写真は主に教育活動の記録として学校内で活用しています。学年だより等の広報に使用する場合は、個人情報への取扱いに配慮して使用しています。生徒の皆さんの心情に配慮しながら取り組みます。

(3) 生徒指導関連

【校則に関することについて】

- ・ 生徒の要望や意見をもっと取り入れてほしいです。
- ・ 各校則が作られた理由について説明してほしいです。理由がないものはなくしてほしいです
- ・ 髪は肩についたら結ばなければいけないです。髪の毛下ろしたいです。清潔でない、邪魔になる、などがありますが、髪をくくっても長さは変わらないため意味がないと思うし、邪魔になるなどは個人が判断することだと思います。また、髪の毛が落ちるから髪の毛の長い女子は髪を結ぶというのは違うと思います。髪の毛が抜けるのは髪が長い女子だけでなく、男子も先生もみんなだと思います。髪が長いことで危険な教科がある場合はその時だけ結ぶのはどうでしょうか。
- ・ 体育座りについて、体育座りをしなければいけないという指導をやめてください。調べていただければおわかりになるかと思いますが、体育座りはとても危険で辛い体勢だと思います。
- ・ 仮校舎の時は「大人数が着替えられる更衣室がない」という理由から体育着登校が許可されていました。しかし現在は許可されていません。なぜでしょうか。私が考える、体育着登校を許可していただきたい理由は以下の通りです。
 - ① 運動して汗をかいた後、すぐに制服に着替える必要があるため、制服が汗で汚れます。体育着は簡単に洗えます。しかし、制服は体育着と違って毎日洗えません。つまり、体育着登校ならば一日汚れたものを着用するだけですが、そうでなければ体育がない日にも汚れた制服を毎日着なければいけません。それは不愉快です。
 - ② 昨年度までは特別な措置だった、とおっしゃいますが、昨年度までの体育着登校で、不衛生なものを一日着用したことによってなにか被害はありましたか。もし「不衛生だ」という声をあげる生徒（またはその保護者）がいるのであれば、希望する家庭は着替えれば良いのであって、強制する必要はな

いと思います。

- ③ 体育の日は体育着も制服も洗わなければいけず、洗濯物が増えることになります。必要な労力や節水などの観点から考えて、適切でしょうか。水（SDGsの観点で）の量でいえばほんの少しですが、それを500人の1年分で考えると相当な量になると思います。
- ④ 「統一感がなくなる」ということについてですが、制服の中でも教室内では「Yシャツの人」「セーターの人」「ブレザーの人」「ベストの人」など様々な着こなし方をしている人がおり、既に統一感はあまりありません。ですので、体育着の人が増えても問題はないと感じます。
- ・ 「他学年の廊下を歩いてはいけない」というルールを撤廃してほしいです。特に、体育の着替えの前後の移動にはとても不便です。そのせいで授業に遅れかけることもあります。せめて、体育着を着ている人だけは「体育のための移動をしているのだな」と認めて、通ることができるようにしてください。
- ※ そもそも体育着登校を許可していただければ全て解決すると思います。

- ・ 本校では学校生活のきまりについて、以下の考え方を示しています。生徒会活動の一環として意見箱の活用や中央委員会、専門委員会、学級討議等を通じて生徒が協議し、手続きを踏んで学校生活のきまりの見直しを進めていくことにしています。
- ・ 体育座りについて強制はしません。また、廊下や階段の使用の指定は、新型コロナウイルス感染症の対応として密を避けることから実施したものです。情勢の変化により、対応を変える予定です。

令和4年度 学校生活の心得

この心得は、生徒の皆さんが充実した楽しい学校生活を送るために大泉西中学校の集団生活に必要なきまりを定めたものです。生徒の皆さんはこの心得を守り、自主的・自律的に学校生活が送れるように努力しましょう。

学校生活の心得を定めるねらいには、社会における基本的な規範を守れる規範意識を身に付けることがあります。個人的な判断で強引にきまりを無視したり、変更したりすることは、社会生活の中では許されません。そうした規範意識を毎日の生活の中で実践することの大切さを理解していきましょう。集団や社会のきまりの内容に対して、いろいろな意見がありますが、きまりに対する意見を表明することと強引に無視することは区別しましょう。

また、生徒の皆さんがきまりを変えたいと思う場合は、学級や学年、生徒会における話し合いの場を重ねて、たとえ少数の意見であっても尊重できるように生徒全体の意見としてまとめて、中央委員会などの生徒会活動の手続きを経て、校長に要望を出すことで検討が始められます。生徒の皆さんによる公正な手続きの中で、みんなでより良いきまりをつくっていきましょう。

【指導に関することについて】

- ・ いじめにならなくても差別やいじりをなんとかしたほうが良いと思う。特に男女差別的な発言が生徒や先生にもたまにみられます。男子生徒が女子生徒にだけ厳しいなど。気をつけてください。いじめはもちろん良くないが、いじめられている人の言動や行動があって、いじめは起こるから、先生たちはいじめられる引き金の言動や行動も厳しく注意したほうが良いと思う。
- ・ 担任の先生について疑問に思うことが多々あり、そのことで学校生活が安心して送れず不安な日々を過ごしています。不適切と感じる言葉遣い、声を荒げて叱るべき状況ではないのに大声を張り上げ生徒が委縮してしまう怒り方を、何か起きた時に先生の言いたいことだけを一方的に言い、生徒が理由を話そうとすると「言い訳をするな」と何も言えない状況にし、結果先生の思い違いということがあり、生徒が傷つき不信感を持ってしまいます。子どもが相談室に相談に行ったときに相談内容は他の人に伝えないほうが良いか、などの確認がなく、相談内容はどこまでの人が把握しているのか不安に感じるので確認を徹底してほしいです。
- ・ いけない行動をした生徒への指導方法で疑問があります。みんなの前でしかったり、その子の行動について記入させたり、つるしあげのように聞いていて感じました。いけない行動へはまずはその生徒一人を呼び指導し、なおらない場合は担任の先生、生活指導の先生などを交え、最後に生徒の前で指導と

段階をふんだほうが良いかと思います。(もしそのようにされていたら申し訳ございません)。もし自分のこどもが同じようなめに合い、不登校になるようなことがあると大変遺憾です。

- ・ 先生方のお言葉には重みがある為、生徒に対しての不適切な表現に関しては明らかに動揺がみられますので、今後ともその都度ご対応いただきますようお願い致します。いつも温かいご指導をいただき心より感謝致します。
- ・ いただきました資料に基づいて判断していますが、制服全般や身だしなみについての範囲があいまいで疑問に思うことがあります。(コートの色やブラウス校章の有無、髪の毛の長さ等)
- ・ 生徒の呼び方が人によって違う先生がいます。場面によるかもしれませんが、教室授業のときに、ある生徒は呼び捨て、ある生徒はさん付けというのは、おかしくはないでしょうか。授業は公的な場だと思えます。
- ・ この前の土曜日体育館に移動する際に生徒のことを「人間」と呼んでいました。
- ・ 先生が生徒のことを動物などということをやめて欲しい。
- ・ 男女差別をしてくる先生がいる

- ・ アンケートや生徒から届く声を踏まえて、その都度、個別に改善を図っています。状況の改善が進んでいる状況ですが、生徒の心情を踏まえた指導や人権感覚を磨くため、指導方法を含めた教職員の意識を高めていきます。
- ・ いじめについては、絶対に許されるものではなく、把握したことについては指導を行い、状況の改善につなげています。生徒の皆さんの気付きにより、いじめの早期発見、早期対応が図られています。

(4) 学習指導関連

- ・ もっとタブレットを活用したほうがいいです。
- ・ 先生の授業がとてもわかりにくいのが不満です。
- ・ 教科によって教えてもらう先生が変わるが、授業の進みや教える内容に差が感じられるため、先生を共通にして教える範囲をまとめてほしいです。
- ・ オンライン授業のときに電子黒板が全く見えない。白飛びなど、解像度が悪く黒板が見えないです。
- ・ 生徒が出した提出物を年度が変わっても返却しない先生がいらっしゃいます。
- ・ 意見交換などしたほうが発表者も増えると思います。
- ・ 集中できない教科がある。
- ・ 何人かの先生は授業に飽きないようにするために工夫して授業をしている。
- ・ どの先生もわかりやすく授業してくれていると思います。

- ・ タブレットパソコンは、令和2年度の途中から全生徒への貸与が始まり、学習や学校生活における活用が始まりました。生徒における利活用の得意、不得意への対応とともに、教員のスキル向上も含めて、授業改善の一つとして工夫や努力を重ねているところです。
- ・ オンライン授業の中継画像については、使用する機器等の条件が影響しています。学校で用意できる機器の中で、できるだけ画質が向上するように努めます。

- ・ 学習指導計画とは全く違う内容の授業をされた先生がいました。先生による評価についても気になります。絶対的評価ではなく相対的評価になっていると思われます。(各人で取り組んだ学習課題を班内発表し合い、淘汰されて、班代表を決め、それに選ばれた者だけが学級発表に臨めるという授業です。先生ご自身が公言していますが、班代表にならない限り、評価が低いとされるそうです)どの教科も、一人の先生が学年全クラスを担当する体制はいいのですが、独りよがりになってはいないでしょうか。
- ・ 授業・評価のあり方について、教科・学年の垣根を越え、学校全体で共有し、研究し、改善されることを願います。

- ・ 授業の進め方や内容、評価に関する回答については、生徒の声として受け止め、授業改善の参考にさせていただきます。授業の指導計画は、生徒の状況や授業の工夫により変更することがあります。
- ・ 授業や評価については、学習指導要領に基づいた新しい評価の在り方について、学校としての考え方をそ

ろえています。さらに精度を高めるために、研鑽を重ねています。

(5) 給食関連

- ・ 「牛乳パックを洗う班」はコロナの衛生上かなり良くないと思います。
- ・ 食品ロスをなくす工夫が必要だと思います。
- ・ 牛乳パックは業者による回収が中止されたことやリサイクルへの取組を進めるために全都で行っています。水洗いについては、練馬区の方針に基づいて実施しています。当番がまとめて洗うことで、生徒が流して密になることを避けています。当番は手洗いにより感染予防につなげています。気になる生徒については、使い捨てのビニール手袋を持参しても良いことにしています。なお、牛乳パックの水洗いにより感染が拡大した状況は、現在までのところ確認されていません。
- ・ 給食の残食量は、毎日計量して献立作成に活かしています。残食を減らすため、保健給食委員会の取組や配膳時の盛り切りの努力をしています。

(6) 部活動関連

- ・ 再登校がある時は部活ごとでも待機できる場所があるといいと思います。
- ・ 職員会議や一斉の出張等がある場合に、原則としての再登校をしています。通学時間の長い生徒等、個別の事情がある生徒については、事前の相談を踏まえた対応をしていきます。一斉に生徒が待機できるための課題について検討しています。

(7) その他

- ・ 生徒総会はなんのためにやっているのでしょうか。正直、「声をあげても何も変わらない・ただ疲れるだけ」と考えている生徒が大半です。改善すべきだと思うのは以下の通りです。
 - ① 生徒会本部による運営ですが、結局は形式に沿ってやっているだけに思えます。本当に「生徒による運営」を目指すのならば、会場から先生が出ていくくらいの勢いで、完全に参与しない姿勢を見せなければいけないと思います。
 - ② 「拍手多数」の定義をしっかりとした方が良くと思います。多数といえば、個人的には「全体の8割程度」と想像しますが、決して越してはいませんでした。もし、多数を過半数を超えた場合と位置づけているならば、先日の会では過半数を超えたか超えなかったか、というギリギリなところでした。司会の席が見える位置にいたのですが、採決の際、司会の生徒の方が先生に判断を求めているのを見ました。①に通じますが、これも問題かと思えます。
 - ③ 事前に中央委員会という会は必要でしょうか。この会で「生徒総会で取り上げる必要のない質問」と判断されると、その質問は紙面での回答となります。この判断はただの、「生徒総会を時間内に終わらせるため」のものでしょうか。紙面での回答に納得いかなかった場合、もうそれ以上反論しにくい状況ができてしまいます。
 - ④ 回答に納得いかなかった場合、質問者でなくとも反論できる機会が必要です。
 - ⑤ 各委員会に質問を出しても「委員会で答えることはできません」という回答しか得られないことが多々あります。つまり結局は「先生が決めたことだから」ということです。ですので、生徒総会内でなくとも構いませんので、先生と討論できる機会も必要だと思います。
- ・ 生徒総会に対する貴重な意見として受け止めます。生徒総会を含めた生徒会活動は、学校における教育活動の一部になっています。完全な自治組織ではありませんので、教員の指導の下で行うものになっています。また、大人数で物事を話し合う仕組みや方法を学ぶことも目的になります。一方で、生徒総会を含めた生徒会活動の充実に向けて、一つの意見として生徒の皆さんにも考えてほしい意見でもあります。現在の運営方法でも、生徒の取り組み方次第で十分に議論する場に変えることを期待します。
- ・ 誰でもトイレが無いと困る人もいるのではないのでしょうか。
- ・ 1階の保健室前にあります。

- ・ 合唱コンクールがホール開催ではなくなったこと、DVD がなかったことは残念です。(音響、保護者席からは見にくい、他学年は聞けない等)
- ・ 合唱コンクールでのピアノの音が狂っていたのが気になりました。ハーモニーを大切にという指導の前に伴奏楽器の音が整っていることが必須ではないでしょうか。

- ・ 新型コロナウイルス感染症の対応が始まるまでは、合唱コンクールを練馬文化センタ大ホールで実施していましたが、令和 5 年度まで練馬文化センターの改修工事が行われること、会場の使用料に対す練馬区の費用補助がなくなったこと、それに伴い、新型コロナウイルス感染症の対応により中止を判断した場合のキャンセル料について保護者負担をお願いすること、生徒の移動による負担や昼食時の感染予防対応等を考慮した結果、本校では体育館での開催を判断しています。DVD の制作・販売については、体育館における実施や個人情報取扱いの課題等を含めて、今後の課題としていきます。
- ・ 調律については、配当される予算の制約の中で年 1 回実施しています。また、楽器や部品の老朽化による影響が大きいので、調律してもピッチが安定しにくい状況もあります。調律の実施時期の工夫を検討します。

- ・ 四択では答えにくい項目もあり、どちらともあてはまらない等の選択肢があるとよいと思いました。今回、選択肢に「わからない」がなかったので返答しにくい質問もありました。

- ・ 保護者にとって把握できない学校状況や、お子様の話だけでは判断できないこともあると思いますので、「十分に状況を把握できていないため、回答を控える」という選択肢を次年度から追加することを検討しています。

- ・ 学校の防犯対策のことなのですが、以前子供の忘れ物を届けに行った際に、誰でも簡単にどこの教室にでも入れる環境だと感じ不安になりました。不審者などが来た場合等の対策が気になります。

- ・ 改築した校舎の施設環境の中でできる防犯対策を検討していますが、施設設備の制約があるため、運用面を中心に対応しています。不審者対策については、教育委員会とも相談をしながら検討していきます。なお、現在のところ、校門や昇降口の施錠は、遅れてくる生徒や授業で校庭を使用する場合等生徒の利便性を考慮して、施錠はしていません。

- ・ 運動会のことですが、急遽 3 年生の保護者だけの参観となったのが残念でなりません。コロナ禍の情勢もあり、すごく分かりますが、せめて我が子の出番だけ見て帰宅できるようなご配慮、期待しております。

- ・ 校庭改修工事を完了した後に初めて運動会を開催しました。限られたスペースの中で、生徒の動線と安全を確保するため、保護者の参観場所が限定的になりました。種目ごとによる保護者の入れ替えも検討しましたが、保護者の皆様の安全確保と誘導、感染予防に向けた密を避ける対応、これらを考慮した運営を行うための学校の体制づくりの限界等を総合的により判断しました。次年度以降について、新型コロナウイルス感染症の情勢等の変化に応じて、工夫に努めていきます。

- ・ 学期ごとの個人面談だけでなく、学年保護者会などで(オンライン開催などでもいいので)、教育活動や生徒の様子など伺える機会があると、より何に取り組んでいるか家庭も理解して協力しやすいかと思います。逆に学校公開は回数を減らしても良いかと思います。

- ・ 学校公開は、運動会や合唱コンクールを除いて、練馬区が定めた年間 8 回の振替休業をしない土曜授業の日に設定しています。また、今年度からは、教科の授業以外の多様な学習活動を土曜授業の日に設定しています。こうした機会を活用していただき、生徒や学校の様子を見ていただくことを計画しています。

- ・ 先生が電子機器を使って授業を進めているかの質問があるなら、生徒にも授業内でタブレット端末を使う機会があるかの質問をしてみても良いと思います。

- ・ 学校評価アンケートの内容として、参考にしていきます。